

一体誰が? ②

漫画: 東園子



オザワ部長最新刊

最強! 大阪桐蔭高校吹奏楽部

梅田先生と部員170名の青春ラブソディ

これまであまり知られることのなかった大阪桐蔭高校吹奏楽部の実態に迫ると、甲子園春夏連覇の野球部に勝るとも劣らない、「最強!」の青春ドラマがあった――。

日本全国で年間90公演以上、コンクールでは優秀な成績を残し続け、野球部を圧倒的サウンドで応援し、超有名アーティストとのコラボ共演など、高校の部活動の域を超えた活動をしている――そんな大阪桐蔭高校吹奏楽部の魅力に迫るため、オザワ部長が熱烈取材! 同部の総監督である梅田隆司先生の指導方針などもあわせてお伝えします!



■四六判/口絵4頁+本文192頁/本体価格1,200円(税別)

<目次>

- 第1楽章: ようこそ大阪桐蔭へ
- 第2楽章: 「ボヘミアン・ラブソディ」と大地震
- 第3楽章: 日本全国、ツアーへGO!
- 第4楽章: 甲子園で燃えた最強野球部&吹奏楽部
- 第5楽章: 「吹奏楽の甲子園」に魔法をかける
- 第6楽章: 大阪桐蔭は止まらない!

～梅田先生メソッド～

- ①入部への道
- ②進学実績も優秀
- ③部員全員でやるワケ
- ④総監督1年目で全国へ
- ⑤専用トラックの秘密
- ⑥可能性は無量大

!!部員のみなさんに聞きました!!
大阪桐蔭高校吹奏楽部の魅力を一言で教えてください!

史上最強のエンターテインメント吹奏楽部!

臨機応変な対応力!

公演数が多くて大変だが、貴重な経験ができる!

「リクエスト曲」に50曲ものレパートリーがあるところ!

全員が主役!

百花繚乱!

発売中 書籍
一球入魂! 一音入魂!
甲子園に響け! 熱演ブラバン・ダイアリー

甲子園出場を目指す野球部を、音楽で応援し支える吹奏楽部の友情ドキュメンタリー。花咲徳栄(埼玉)、常総学院(茨城)、大阪桐蔭(大阪)、作新学院(栃木)、市立習志野(千葉)、東邦(愛知)、横浜(神奈川)、東海大菅生(東京)の全8校を熱烈取材!

著: オザワ部長
■四六判/200頁+口絵8頁/本体価格1,200円(税別)



2019年
春のセンバツ甲子園開催中!
(2019年3月23日～4月3日)
応援演奏にも
ぜひご注目ください!

Gakken

株式会社学研プラス 音楽事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220
学研 おんがく.net https://www.gakken.jp/ongaku/
電子書籍モール Beyond Publishing http://bpub.jp/
twitter @gakken_music Facebook gakken.music

Gakken

株式会社学研プラス 音楽事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220

学研 おんがく.net https://www.gakken.jp/ongaku/
電子書籍モール Beyond Publishing http://bpub.jp/

twitter @gakken_music
Facebook gakken.music

学研 4月号

おんがく通信

TAKE FREE

毎年春の(よ)の楽しみは、夜桜能で狂言を観ることです。狂言は単純で大らかな笑いの物語が多いので、知識の有無に関係なく何と無く理解でき、いつも笑ってしまいます。そして、狂言師の研ぎ澄まされた表現や装束のデザイン、時折り舞い散ってくる桜の花びら...とても素敵な時間です...寒くて着ぶくれしている以外は(笑)

2019年3月25日

独断と偏見に満ちた!? 編集部(ゆ)のセレクション 春といえば花といえば…のMusic

春爛漫! 平成最後の春、思い残すことのないように、お花見やおでかけを存分に楽しみたいですね。でも、花粉症の人には辛い季節。お家でも春を楽しめたら……。そこで、「春」や「花」にまつわる曲を、シチュエーションごとに(ゆ)の独断と偏見で選んでみました。ぜひ、お家で聴いたり歌ったりして春気分を満喫してくださいね!

ティータイムにピッタリ! 優雅さを楽しもう

- ♪ヴァイオリン協奏曲《四季》第1楽章「春」 / ヴィヴァルディ
- ♪春の声 / シュトラウス2世
- ♪《無言歌集》より「春の歌」 / メンデルスゾーン
- ♪歌劇《ラクメ》より「花の二重唱」 / ドリローブ

みんなで歌って楽しもう

- ♪花 / 滝廉太郎
- ♪春一番 / キャンディーズ
- ♪桜色舞うころ / 中島美嘉

作業BGMにおすすめ! 雰囲気を楽しもう

- ♪ハーブ協奏曲 変ロ長調 HWV 294 / ヘンデル
- ♪映画「もののけ姫」より「アシタカとサン」 / 久石譲
- ♪そよ風の誘惑 (Have You Never Been Mellow) / オリビヤ・ニュートン・ジョン

番外編: こんな春もあり!

- ♪交響組曲「春」 / ドビュッシー
- ♪ブエノスアイレスの春 / ピアソラ

おまけ

(ゆ)が春に聴きたくなる曲♪

- ♪日なたの窓に憧れて / スピッツ
- ♪春 ~ spring ~ / Hysteric Blue

2019年4月1日より開催!

新版 おんがくドリル 30周年記念キャンペーン

日頃のご愛顧への感謝を込めて
JCB ギフトカードほかステキな賞品を抽選でプレゼント!

ふるってご応募ください!

詳しくは店頭チラシ・POPなどをご覧ください。

このハガキが目印!
新版おんがくドリル①～⑦に入っています。

おんがくドリル 30th Anniversary

「ドリル」と「ワークブック」 って何が違うの？

突然ですが、ドリルとワークブックって何が違うと思いますか？

レッスンでドリルやワークブックを取り入れたら、それらを宿題として生徒さんに出している先生方もいらっしゃると思います。「テキストで学んだことを定着させるために取り組む問題集」という認識を持っている方が多いのではと思います。まさにその通りなのですが、もう少し掘り下げて意味を考えてみると、ドリルとワークブックのニュアンスの違いが見えてきました。

広辞苑では、このように定義されています。

ドリル

技能・能力を向上させるための反復練習。特に、**基礎的な教育内容**の反復練習による学習。また、それに用いる教材。

ワークブック

児童・生徒の自学自習のために編集した図書。学習帳。練習帳。

ドリルのキーワードは「基礎」「反復練習」。教科書で勉強した基本的な学習内容を、繰り返し何度も解いて定着させることが目的です。漢字ドリルをイメージしていただくとうわかりやすいかもしれませんね。基礎が中心ですが、応用問題を一緒に載せているものが多いです。

ワークブックのキーワードは「自習学習」。教科書で勉強した基本的な学習内容と、それらを応用・発展させた問題を中心に、自分で取り組むことができるように編成されたものです。

例えば、あかね先生の「リズム」の教材には、『リズムのほん』『リズムのほん ワークブック』と、はぎとり式ドリル『はじめてのリズム』『リズム』があります。『リズムのほん』で基礎を学び、それらを応用させた問題を『リズムのほん ワークブック』で解いて理解を深める。同時に、『はぎとり式ドリル』シリーズに取り組んで基礎を確実に定着させる。このように活用していただけたらまさに理想的ですね。問題の数をこなす、つまりどれくらいアウトプットする機会を作ることができるかが、本当の学びへの近道だと感じています。テキストに比べて、ドリルやワークブックは重要視されないことが多いですが、学んだことへの理解を深め、定着させるためにとても有効な副教材です。ドリルとワークブックをうまく活用してみてください！(ゆ)



今年は一スツペ生誕 200 年！

フランツ・フォン・スツペ (1819.4.18-1895.5.21)

Anniversary
200th



スツペ…と聞いて、《軽騎兵》序曲、というタイトルを思い出したところまでは良かったものの、口をついて出たのは「たららっ たららっ たったったーった たららら たったんたん」…と、これは《ラデツキー行進曲》。シュトラウス1世の曲です。どちらニューイヤー・コンサートのプログラムの定番で、19世紀ウィーンを代表する名曲と言っても過言ではないでしょう。フランツ・フォン・スツペはロマン派に活躍した作曲家で、「ウィンナ・オペレッタの父」とも呼ばれています。パリに於いて、オペラ・コミックから“オペレッタ”の源流を生み出したオッフエンバックの影響を受け、シュトラウス2世とともに“オペレッタ”というジャンルを確立させ、ウィーンの「オペレッタ金の時代」を築き上げました。オーストリア・ハンガリー連合という一大帝国を築き上げたハプスブルグ家が崩壊するというまさにその直前、爛熟期のウィーン文化を生きた作曲家であったわけです。

残念ながらスツペが作曲したオペレッタで全曲がレパートリーとして定着したものはほとんどありませんが、今日では《軽騎兵》など、一部の作品の序曲が繰り返し上演されています。ただ、スツペの曲が現代に定着するのに一役買ったのは、なんとと言ってもディズニーの映画で、《軽騎兵》序曲は、いまやブラスバンドのレパートリーとして欠かせない一曲となっていると言えるでしょう。

そして日本においてスツペの曲を定着させた、ということにおいて、「浅草オペラ」の存在は欠かすことができません。「浅草オペラ」とは大正時代に浅草において起こった、西洋のオペラ、オペレッタを日本の大衆文化に取り込もうという運動です。ここで取り上げられたオペラ、オペレッタの中でも特に人気を博した、田谷力三による「恋はやさし野辺の花よ」やエノケン(榎本健一)の「ベアトリ姉ちゃん」(ベアトリーチェ)はスツペの《ボッカチオ》のアリエッタです。余談ですが、かの大プリマドンナ、マリア・カラスは終生イタリア・オペラとカルメンをレパートリーとし、ドイツ語の歌はほとんど歌っていませんが、なんとデビューはスツペの《ボッカチオ》だったそうです。

ところで読者の皆様、ここまで無事《軽騎兵》序曲を思い出していらっしゃいますか？

正解は…「たーん たんたたたんたたたん たんたたたんたたたん」ですね。(か)

フィギュアスケートに 恋して…

3回目の今回は、毎年誰かが必ず滑る曲で(よ)の注目しているプログラム「ロミオとジュリエット」を取り上げたいと思います。2018~2019年は韓国のチャ・ジュンファン選手や、2018年全米チャンピオンのブレイディ・テネル選手などが使っています。毎年聴きながら、何となくいくつかの曲があるのかな…くらいに思っていたのですが、調べてみて以下の4つがあることが分かりました。なるほど…知らなかった。

<演奏会用序曲>(ロメオとジュリエット)

1869年 作曲:チャイコフスキー

<バレエ音楽>(ロメオとジュリエット)

1935年 作曲:プロコフィエフ

<映画音楽>

1968年 監督:フランコ・ゼフィレリ

音楽:ニーノ・ロータ

1996年 監督:バズ・ラーマン

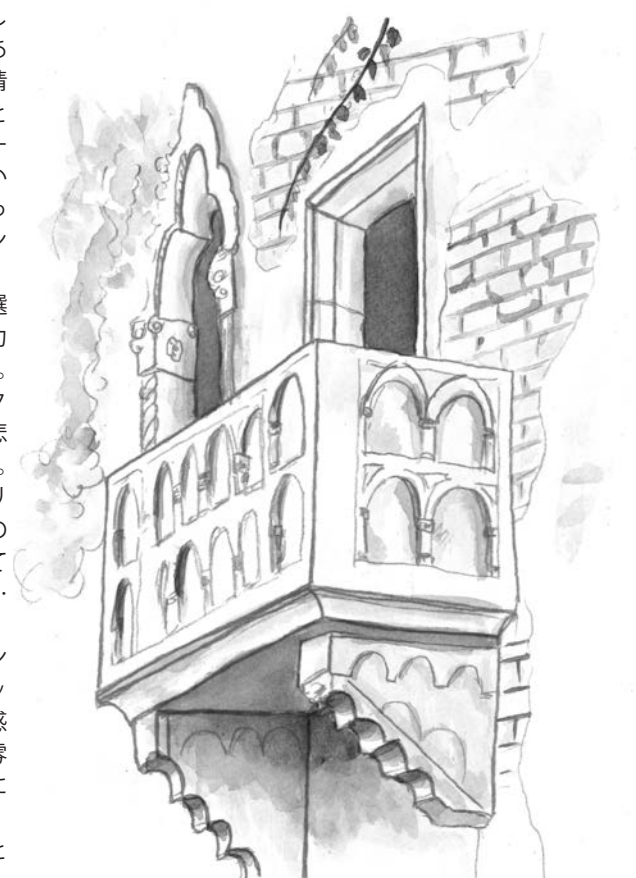
音楽:ネリー・フーパー クレイグ・アームストロング

なんと、フィギュアスケートでは、上記の4つを混ぜて編曲して1つの「ロミオとジュリエット」のプログラムにする場合もあるのです!元の戯曲がドラマティックなので、緩急があって感情移入できるプログラムが構成しやすいのでしょうか。「ロミオとジュリエット」を使う場合、殆どの選手が演技時間の長いフリースケーティングで使用しています。1968年の映画版で滑っている選手が多いように思いますが、中でも(よ)が一番印象に残っているのは、2012~2013年の羽生結弦選手のフリースケーティング(1996年映画版)です。

今に比べると技術的にはまだまだだかと思われませんが、世界選手権での演技からほとぼしる情熱が凄かった…。演技の冒頭、力強い曲調とともに滑り出し、ジャンプを次々に決めていきます。ピアノの静かな曲調に変わってからの滑らかなステップシークエンス。その後のつなぎ部分でまさかの転倒…!観客からも悲鳴が…今、改めて見ても息が止まりそうになってしまいます。そんな動揺と応援の空気の中、すぐにトリプルアクセル+トリプルトゥループのコンビネーションジャンプを決めた時「この選手の精神力は尋常じゃないな…」と思わされました。そして再び曲が盛り上がり、雄叫びとともに始まる渾身のステップ…ビシビシと心に響いてくる名演技でした。

羽生選手と同じ1996年映画版のプログラムでも、チャ・ジュンファン選手のプログラムは、セリフの声が入っていたり、アップテンポでダンスブルな曲調が入っていたりと「イマドキ」感があるように感じます。選曲・編曲・振り付け・選手の持つ雰囲気などで同じ「ロミオとジュリエット」でも全く違うものになるのが面白いところです。

来季も誰かが滑ってくれると思うので、また新たな「ロミオとジュリエット」のプログラムの誕生を楽しみにしています。



Music Quiz

Q ヴィヴァルディの「四季」は何というヴァイオリン協奏曲集に入っているのでしょうか？

- ① 調和の靈感
- ② 和声と創意の試み
- ③ ラ・ストラヴァガンツァ
- ④ パドヴァの聖アントニウス

答え: ②和声と創意の試み
ヴァイオリン協奏曲集《和声と創意の試み》は全部で12番から成り立つ曲集で、そのうちの第1番から第4番を「四季」と呼びます。この「四季」というのはヴィヴァルディ本人がつけた呼び名ではないのだから、ちなみに、選択肢に上がっている呼び名は、すべてヴィヴァルディの作品です。

発売中
楽譜
小学校教諭のための
歌唱共通教材ピアノ伴奏集



各曲に
選べる**③**ステップの伴奏

<収録曲>

- 第1学年
うみ/かたつむり/日のまる/ひらいたひらいた
- 第2学年
かくれんぼ/春がきた/虫のこえ/タヤケトヤケ
- 第3学年
うさぎ/茶つみ/春の小川/ふじ山
- 第4学年
さくらさくら/とんび/まきほの朝/もみじ
- 第5学年
こいのぼり/子もり歌/スキーの歌/冬げしき
- 第6学年
越天楽今様/おぼろ月夜/ふるさと/われは海の子

編曲: 大海由佳 古谷和子 長谷川恭子

■A4判/144頁/本体価格1,600円(税別)

映像で弾き方が
確認できる
QRコード付き